

第 15 回アジア認知症学会国際学術大会
ASAD2021

寄 付 趣 意 書

ASAD2021 会長

目黒 謙一

東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)

高齢者高次脳医学研究プロジェクト

プロジェクトリーダー・教授

大学院医学系研究科 (兼務)

サイクロトロン RI センター (兼務)

ご挨拶

謹啓 時下、貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

我が国は現在、他国に類を見ない高齢社会を迎えており、認知症への対策、認知症との共生が喫緊の課題であります。また世界規模で見ても、21世紀はアジア圏を中心として高齢者人口の爆発的な増大が予測されています。このため我が国での先進的な取り組みは、世界標準として広がる可能性を秘めています。「認知症とともに歩む社会」という大きな目標に向かって、医療福祉分野の枠にとどまることなく、工学、情報技術、文化芸術、哲学といったあらゆる分野の叡智を結集する必要があると考えられます。

令和元年、政府は日本認知症官民協議会を設置し、認知症イノベーションアライアンスワーキンググループでの議論に着手しました。ここでは医療福祉・産業界・行政が連携して、「認知症に関する新たな製品・サービスの社会実装に向けて、認知機能低下の進行抑制に向けた評価指標・手法の確立や、認知症との共生を支えるソリューション開発に関する」取組が必要だと謳われています。国内でのこうした動きと並行して、我々の隣人であるアジア・太平洋諸国にも目を向ける必要があります。これらの国々も急速に高齢化が進みつつあり、認知症と共生していくための新たな産業科学技術を切望しています。

私たちのアジア認知症学会（ASAD; Asian Society Against Dementia）は、高齢化の波を迎えたアジア太平洋諸国において、認知症研究の推進、エビデンスに基づくケアの実践、そして、これらのための専門家の交流と教育を目的に設立されました。毎年、認知症の研究者、臨床医、コメディカルの多数の参加を得て、基礎医学分野から臨床、薬学、ケアまで、幅広いフィールドで活発な討議が交わされています。そして認知症医療という全人的な営為に関して、いわゆる「西欧」の人間＝機械論的な見方を超克したアジア独自のアプローチを模索しています。

ASAD2021では「西洋と東洋」「テクノロジーとヒューマン」という二つの軸の融合をテーマに掲げています。全世界的に見ても、アジア圏は人種や文化、宗教の多様性がとりわけ際立つ地域です。こうした風土は、人間が一人ひとり個性をもつ存在であることを本来の姿として受容する人間観を醸成しています。道具の扱い一つをとってみても、現代社会を特徴づける大量生産・大量消費とはまったく異なった伝統が脈々と流れています。道具の作り手と使い手が顔を合わせ、お互いに議論を交わし、使い手の個性に合わせるべく繰り返し調整を加える、いわゆる「職人」の世界が受け継がれてきました。このような暖かみのある技術は、西洋のテクノロジーが到達しつつある「オーダーメイド」の発想を先取りしたものに他なりません。現代テクノロジーは最も一般的と仮定した人間観、いわば「スーパーノーマル」を前提に形作られています。しかし人間という種は本来多様な個性から成り立っており、「誰もが同じように使える道具」という発想には限界があります。とくに身体に障がいをお持ちの方、脳の機能に衰えを認めはじめた高齢者や認知症の方は、現代テクノロジーの想定から大きく外れています。私たちの研究グループは地域での訪問調査を通じて、「高齢者向け」と謳われた電磁誘導加熱（IH）機器ですら、現実の高齢者はほとんど使いこなせない現実を明らかにしてきました。

ASAD2021は加齢や認知症についての議論を通じて、一人ひとりの人間の個性や多様性の豊かさを提示し、オーダーメイドの科学技術を提案いたします。このために下記の6テーマを中心的な議題として掲げました。私たちは西欧の科学技術テクノロジーとアジア伝統の人間観やケア技法が融合することで新たな技術革新が生まれることに大きな希望を抱いています。また東日本大震災から10年を経て、各国の参加者に復興の現在地を知っていただくためにも、仙台の地で本学会を開催することに大きな意義を感じております。大規模な災害にあっては国境線がなく、アジア・太平洋諸国は同じプレート上の運命共同体であるとの思いを強くしています。

- A) 認知症評価における観察法の重要性
- B) 言語と記憶についての行動神経学

- C) 非薬物療法による介入
- D) 認知症ケアと脳神経倫理学
- E) 現代テクノロジーと高齢者のマッチング
- F) 行動神経科学と災害医療

ASAD2021にご参加いただくことで、技術開発の基盤となる最新の医学的知見に触れることができ、最前線で活躍するオピニオンリーダーの声に接することができます。レセプションもご用意いたしておりますので、講壇の上からだけでなく、実りある意見交換や交流の場としていただければ幸いです。その他、ランチオンセミナーを企画しておりますので、インフォメーションの場としてぜひご活用ください。また会場にご出展いただける企業様にはゆとりある展示スペースをご準備いたしますので、展示品の実機デモを行うことも可能です。本学会はアジア圏の幅広い地域から多数の参加をいただいております、豊かな文化的多様性を持つことが他にない特色であります。企業様におかれましては、高齢化が進むアジア太平洋諸国への商品・サービスの普及拡大、アジア太平洋諸国の研究者と提携した商品・サービスの調査研究などの促進に必ず役立つものと確信しております。

ご検討のほど、どうぞよろしく申し上げます。

謹白

2020年6月吉日

第15回アジア認知症学会国際学術大会
(ASAD2021)
会長 目黒 謙一
東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト
プロジェクトリーダー・教授
大学院医学系研究科 (兼務)
サイクロトロンRIセンター (兼務)

ASAD2021 開催概要

会議の名称：

【和文名】 第15回アジア認知症学会国際学術大会

【英文名】 The 15th International Congress of the Asia Society Against
Dementia (ASAD2021)

主催： 東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)

会長： 目黒 謙一
(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト
プロジェクトリーダー・教授
大学院医学系研究科 (兼務)
サイクロトロン RI センター (兼務))

学会テーマ： 「東洋」と「西洋」の融合, ヒューマンとテクノロジーの融合をめざして

会期： 2021年11月6日(土)～11月10日(水)

会場： 仙台国際センター
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山
TEL 022-265-2211 (代表)

主催事務局： 第15回アジア認知症学会国際学術大会 事務局
東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1 加齢医学研究所内
TEL:022-717-7359

運営事務局： 第15回アジア認知症学会国際学術大会 運営事務局
(株式会社コングレ)
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービルディング
TEL: 022-723-3211 FAX: 022-723-3210
E-mail: asad2021@congre.co.jp

第 15 回アジア認知症学会国際学術大会 役員名簿

会 長 : 目黒 謙一

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト
プロジェクトリーダー・教授
大学院医学系研究科 (兼務)
サイクロトロン RI センター (兼務))

主催事務局 : 厚東 知成

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト)

川畑 伸子

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト)

葛西 真理

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
高齢者高次脳医学研究プロジェクト)

相田 努

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe) 助教)

佐久間 恵二

(東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe) 特任教授)

寄付金 募集要項

- 募 金 の 名 称 : 第 15 回アジア認知症学会国際学術大会
- 募 金 期 間 : 2019 年 12 月 2 日 (月) ~2021 年 12 月 31 日 (金)
- 寄付を必要とする理由 : 本大会には、国内外から多数の参加が予想され、大会開催の準備・運営に関する経費は本来、学会参加費などで賄うことが建前ではありますが、参加者が個人で負担できる金額には限界があります。このため必要経費の相当額は、諸企業からのご浄財によるご援助に頼らざるを得ないのが実情であります。誠に恐縮に存じますが、本大会が多大な成果をあげるために、ぜひともご支援を賜りたく存じます。
- 寄 付 金 の 使 途 : 第 15 回アジア認知症学会国際学術大会の準備・運営費用
- 申 込 方 法 : 本大会の開催趣旨にご賛同賜りご協力いただけます場合は、同封の申込書にご記入のうえ事務局宛に郵送もしくは FAX にてお申し込みいただいた後、下記口座にお振込をお願いいたします。

銀 行 名 : 七十七銀行 (銀行コード : 012)
 大学病院前支店 (店コード 255)
口座番号 : 5018593 (普通預金)
口座名義 : 第 15 回アジア認知症学会実行委員会
 会長 目黒 謙一
 (ダイジュウゴカイアジアニンチシヨウガツカイジツコウイインカイ)
- 申 込 先 : 東北大学未来科学技術共同研究センター (NICHe)
 高齢者高次脳医学研究プロジェクト
 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区青陵 4-1
 加齢医学研究所プロジェクト総合研究棟内
 TEL: 022-717-7359 FAX: 022-717-7339
- 免 税 措 置 : この寄付金は一般寄付金ですので、税法上の損金算入等の優遇措置は構じられておりませんのでご了承ください。